

「メンバーのつながり」機能

ご自身や自部署メンバー個人のつながりの変化や伸び代を月次データで振り返ることができ、メンバーのフォローや1on1などのコミュニケーションに活用できます。

つながりダッシュボード

メンバーの月次の変化やつながりの伸び代が一目でわかる

新しいつながりや部署内で関係性が薄い孤立メンバーの把握など、1on1や入社後のフォローに活用できる情報を収集できます

つながりマップ

メンバーの関係性やコミュニケーション状態を俯瞰できる

特定の部署やメンバーと関係性の深いハブ人材を把握し、部署間交流の促進やアサイン検討の参考材料として活用できます。



メンバーのつながり

投稿・拍手の送りあい回数を参考にした自部署メンバーのつながりを確認できます。

<https://unipos.me/connections/dashboard>

Step 1

「メンバーのつながり」をクリック



Step 2

一覧から自分または自部署のメンバーのつながりを確認



1on1や評価の事前情報を収集

- 普段関わらない他部署のメンバーと新しいつながりが生まれている

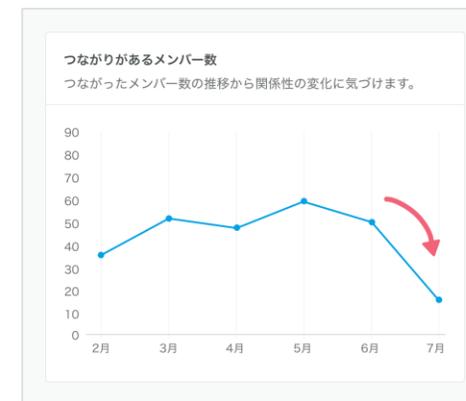
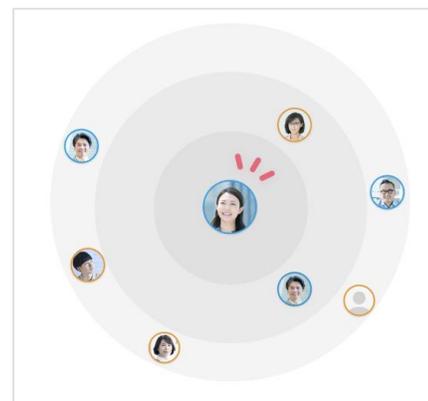


最近、〇〇さんと頑張ってくれてたね

つながりから、普段は見切れない部下の働きぶりや関係性を把握した上で面談・フィードバックをしてもらえるので、メンバー自身も納得感が高まります。

フォローが必要なメンバーを把握

- 周囲のメンバーとのつながりが遠い、密度が低い
- つながりのあるメンバー数が急低下した



先月、〇〇みたいだけど大丈夫？

メンバーの周囲と関係性の変化を察知し、メンバー自身も素早くフォローしてもらうことができるので新メンバーもチームに馴染みやすく、安心して働くことができます。

アサインの参考材料に活用

- 特定部署のメンバーとつながりが近い
- 他部署のメンバーと多くつながっている



プロジェクトや部署間交流の
ハブとして期待してるよ！

個々の関係性を俯瞰できるので、特定部署・メンバーとのつながりの多さ・深さからメンバー個々の特性や興味関心を活かした適切なアサイン・期待値調整ができます。

コミュニケーションの偏りを把握

- 自部署のメンバーとのつながりが遠い
- 最近つながっていない自部署メンバーがいる



最近▲▲さんとの関わりが薄くなってしまったから
今度いつもの感謝を伝えてみようかな

感覚頼りになりがちなコミュニケーションの偏りを振り返れるので、チーム全体を見てメンバー一人一人に公正なコミュニケーションや対応を行うことができます。

こんなことに悩んでいました...

どの部下にも偏りなく 日々称賛できているか 個人の感覚に頼っている

部下のモチベーションを偏りなく上げたいが、感謝・称賛が全体に行き届いているかは管理職個人の感覚頼りになっている。結果、称賛が偏り部下のモチベーションの高さにもムラが発生してしまう。



導入企業 F社様
(従業員数：100～299名)

フィードバックの偏りを 管理職が定量的に把握し マネジメント改善を実現！

管理職自身が感謝・称賛のフィードバック状況を定量的に振り返り、つながりが弱い部下に先回りでフォローできるようになった。その結果、「チーム全体を見てマネジメントしてくれている」とポジティブな声が増えた。



ここがポイント！

- 1. 自分とつながりが弱い部下を把握**
管理職自身の月次振り返りとして、つながりデータを参照。特定のメンバーだけつながりが弱くないか（＝日々の頑張りを承認できていないか）を確認。
- 2. 該当部下とつながっている人と対話**
日々の頑張りを捉えていない場合、その部下とつながりが強い人・新しくつながった人と対話し、先月部下が行った隠れた貢献をキャッチアップ。
- 3. 隠れた貢献について意識的に称賛**
ポジティブなフィードバックが不足していた部下に「最近〇〇さんと連携して頑張ってたね」など具体的な貢献について、面談でアイスブレイクに活用したり、改めて感謝・称賛の気持ちを伝えたりする。

Uniposでこれやりました！